

COMET

# CBm-1200

## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



# はじめに

---

このたびは、コメット CBm-1200 電源部をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、AC 電源の供給が受けられない環境下でも、本格的ライティングとストレスのない高速チャージを実現した、ハイスペックの電池式ストロボ電源部です。なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえ、ご活用ください。

## セット内容

---

|                     |   |
|---------------------|---|
| ● CBm-1200 電源部      | 1 |
| (付属品) CR シンクロコード 5m | 1 |
| PMT 充電器用コード         | 1 |
| ヒューズ モデリング用 3A      | 1 |
| 保証書                 | 1 |
| ● NHB-2428 ニッケル水素電池 | 2 |
| ● NCD-24 充放電器       | 1 |
| (付属品) AC コード        | 1 |
| 取扱説明書               | 1 |
| 保証書                 | 1 |

## 付属品

---

|         |    |
|---------|----|
| ● 取扱説明書 | 本書 |
|---------|----|

## 付属品

---

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 1. 安全のために特にご注意ください | 1 ~ 4   |
| 2. 使用上の注意とお願い      | 5       |
| 3. 各部の名称とはたらき      | 6 ~ 7   |
| 4. 操作手順            | 8 ~ 9   |
| 5. 電池の残量表示         | 10      |
| 6. パワーセーブ機能        | 11      |
| 7. 出力モードセレクター      | 11      |
| 8. 出力バリエーター        | 11      |
| 9. モデリングランプスイッチ    | 12      |
| 10. サウンドスイッチ       | 12      |
| 11. フォトセルスイッチ      | 12      |
| 12. 不発光警報          | 13      |
| 13. 過熱警報           | 13      |
| 14. ヒューズ交換         | 13      |
| 15. 充放電器           | 14 ~ 18 |
| 16. 保証とアフターサービス    | 19      |
| 17. 仕様             | 20      |
| 18. 寸法図            | 21      |

# 1 安全のため特にご注意ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

## 絵表示の意味



△ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



○ 記号は、禁止行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



● 記号は、具体的な指示内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

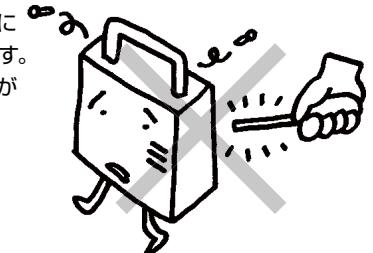


## 警 告



### ■絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを「OFF」にしても、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかるており危険です。十分注意をしてください。



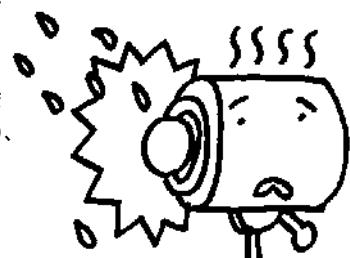
### ■水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



### ■使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管が高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



### ■発光部は発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けでの使用は絶対にしないでください。

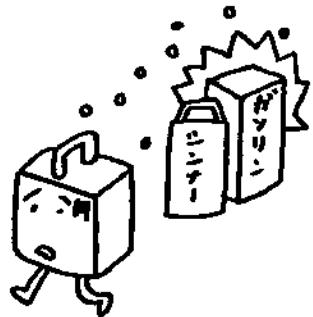
火傷や火災の恐れがあります。





- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧は AC100～120/200～240V(50/60Hz)です。(充放電器 NCD-24)

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

- ヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。



## 注意



- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



- ヘッドは、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

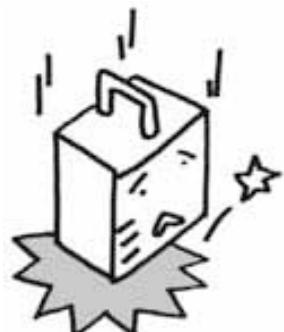
定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



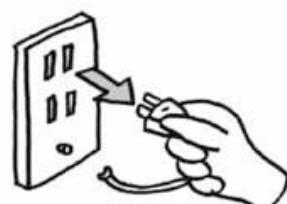
- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。

コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。

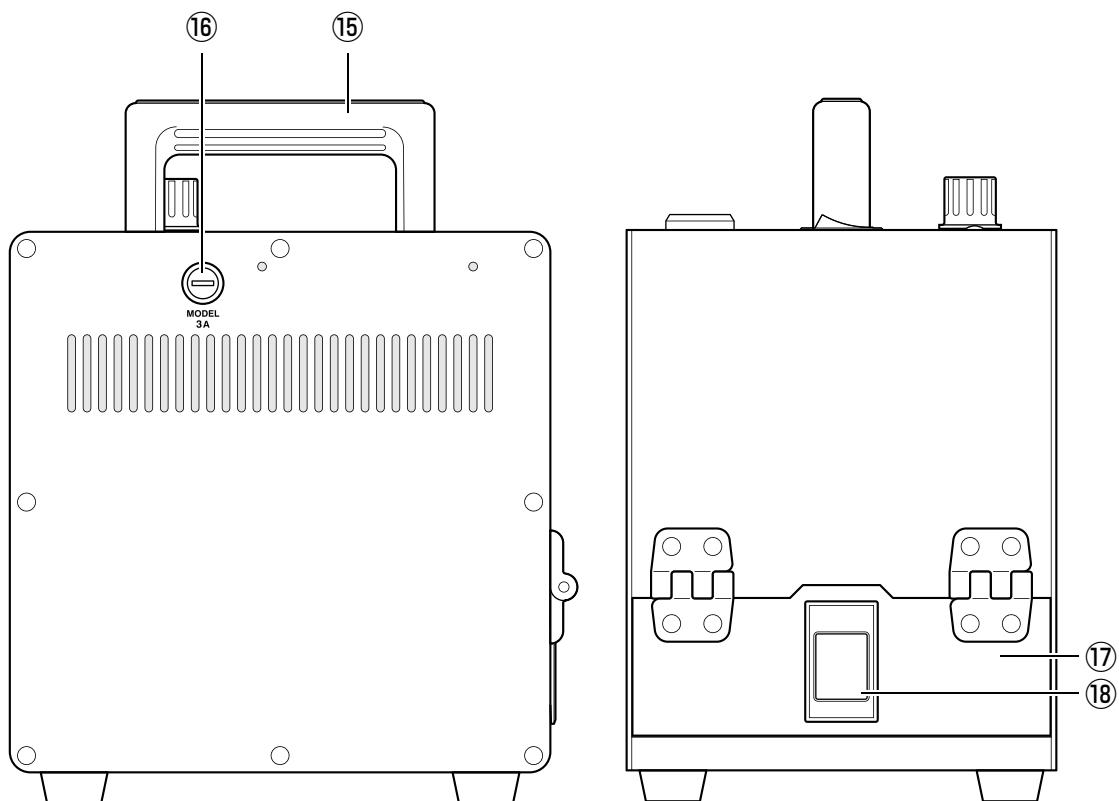
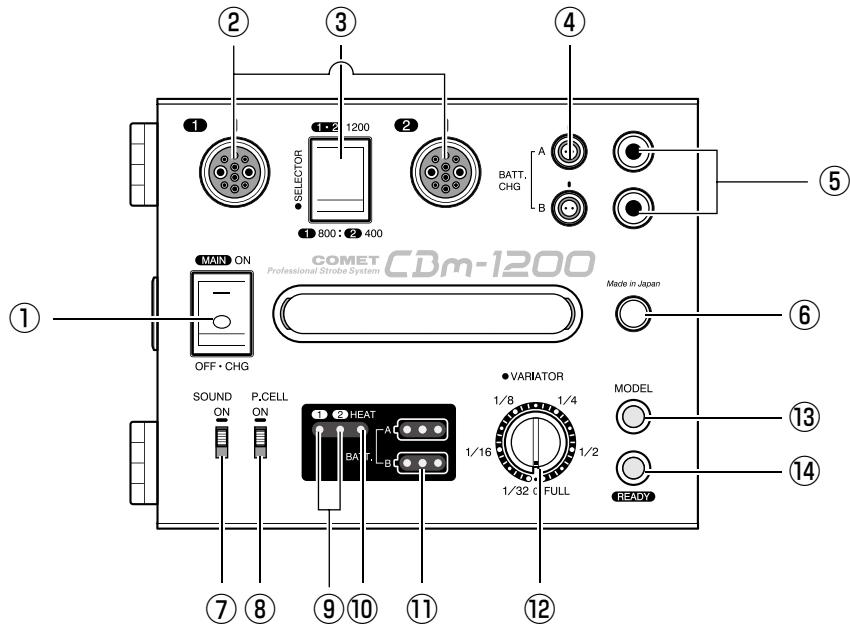


## 2 使用上のご注意とお願ひ

- 本機 CBm-1200 電源部は、電池消耗を防ぐためファン回路を持っていません。  
発光部のファンは作動しませんので、連続発光で発光部は熱くなります。発光部の温度が冷えるまで、発光はさせないでください。
- 電池を2個使用する場合  
購入時期のそろった電池で、FULL 充電の状態の電池をご使用してください。  
充電状態にばらつきがあると、性能が発揮されないだけでなく、ストロボ内部の一部に負担がかかります。十分にご注意ください。
- NHB-2428 (ニッケル水素) 電池と NB-2413 (ニッケル電池) を混在してのご使用は絶対におやめください。
- ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1~2度は必ず出力を FULL にして通電をしてください。  
特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力を FULL にして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。  
長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。
- 下記のヘッドをご使用になる場合、注意してください。
  - ・レクト-126 ヘッド 1灯のみ
  - ・CX-12 バイチューブヘッド 使用できません。
  - ・スタジオ (S) タイプヘッド 使用できません。

- 
- 赤外シンクロ装置 (当社製) の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。  
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
  - 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置 (当社製) で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。

### 3 各部の名称とはたらき



## 名 称

## は たら き

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 1. メインスイッチ (MAIN)             | 電源部の「ON/OFF」<br>バッテリーを充電する際は「OFF」にしてください。                    |
| 2. 出力コネクタ (①・②)               | ヘッドを接続します。<br>着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。                      |
| 3. 出力モードセレクター (SELECTOR)      | 各出力コネクターへの出力切り替えをおこないます。<br>パラレル①・②1200Ws、セパレート①800Ws ②400Ws |
| 4. 充電コネクター (BATT.CHG A/B)     | 充放電器NCD-24と接続するコネクターです。                                      |
| 5. シンクロソケット                   | ホーンジャックタイプ CRシンクロコードでカメラと接続します。                              |
| 6. フォトセル                      | 他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。                                  |
| 7. サウンドスイッチ (SOUND)           | チャージ完了ブザー音の「ON/OFF」を選択できます。                                  |
| 8. フォトセルスイッチ (P.CELL)         | 他のストロボ光を受けて同調発光させる時「ON」にします。                                 |
| 9. 不発光表示 (①・②)                | 不発光が生じたとき該当するコネクター表示ランプが点滅してブザーでしらせます。                       |
| 10. 過熱警報 (HEAT)               | 所定の温度を超えると、「HEAT」ランプが点滅します。                                  |
| 11. バッテリーインディケーター (BATT.) A/B | A/B2本の電池の残量を表示します。   |
| 12. 出力バリエーター (VARIATOR)       | 出力をFULLから1/32まで1/6EVステップで調光します。                              |
| 13. モデリングランプスイッチ (MODEL)      | モデリングランプを「ON/OFF」します。<br>「ON」の時約8秒間点灯します。点灯中に押すと消灯します。       |
| 14. レディーランプ (READY)           | チャージが完了すると点灯します。   |
| テスト発光スイッチ                     | 点灯している時、軽く押すと発光します。  |
| 15. 把手                        | 把手上部のカバーを外すと、スペアヒューズが入っています。                                 |
| 16. モデリングランプヒューズ              | モデリング回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。                                |
| 17. 電池収納部                     | ニッケル水素電池 (NHB-2428) 「PMT- $\alpha$ 兼用」を2本まで収納できます。           |
| 18. スライドロック                   | 電池収納部のフタを開閉します。  |

# 4 操作手順

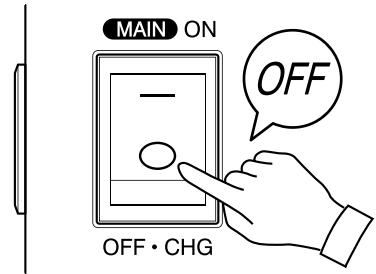
ご使用になる前に電池を充電してください。

## 1 メインスイッチの確認

メインスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

【ご注意】

メインスイッチが「ON」のままで電池やヘッドコネクターを差し込むとプラグやコネクターを破損します。

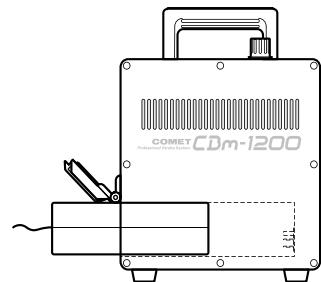


## 2 電池の装着

電池収納部中央のスライドロックを上方にスライドさせロックを解除し、フタを開け充電されているニッケル水素電池(NHB-2428)2本又は1本を電池収納部へ装着して下さい。(取り出すときはベルトガイドを持って引き出してください。)

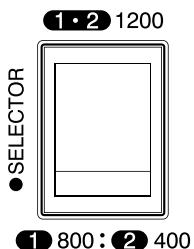
【ご注意】

●電池装着の際、電池のコネクター側のベルトガイドを挟み込まない様、ご注意ください。



## 3 出力モードの設定

出力モードセレクター(SELECTOR)で出力モード  
①・②1200Ws又は①800Ws ②400Wsを選択して  
ください。



## 4 ヘッドの接続

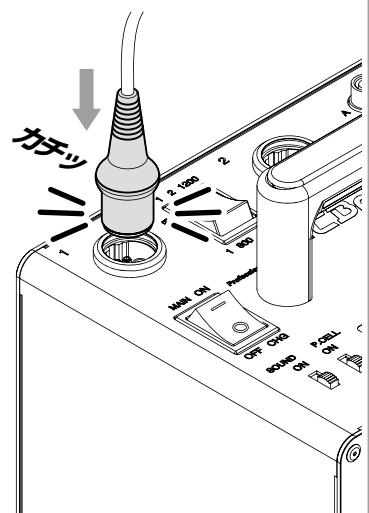
ヘッドコネクターを電源部の出力モードに合わせて、出力コネクターへ接続します。“カチッ”と音がするまで十分に差し込んでください。

【ご注意】

●コネクターを確実に差し込んで下さい。差し込みが不完全な場合、発光時に流れる大電流によりコネクターが破損する恐れがあります。

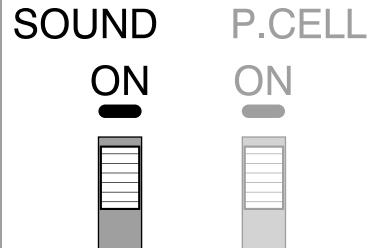
また、コネクターを着脱するときはメインスイッチ(MAIN)を必ず「OFF」にしてください。

●ご使用にならない時は、ヘッドコネクターを電源部から抜いてください。



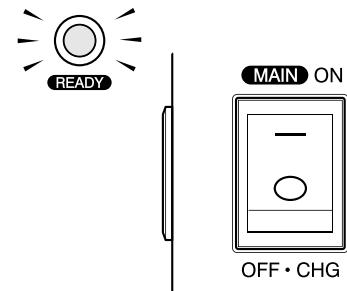
## 5 サウンドの選択

チャージが完了した時、電子音でしらせます。必要な時「ON」にしてください。  
(警報はサウンドスイッチが「OFF」でも鳴ります。)



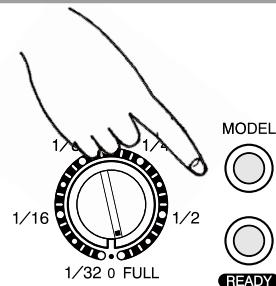
## 6 チャージの開始

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。  
チャージが完了すると、レディーランプ (READY) が点灯し、発光準備が完了します。



## 7 発光の確認

テスト発光スイッチ (READY) を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確認してください。



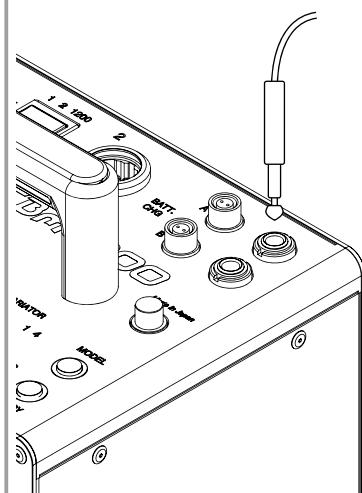
## 8 カメラとの接続

シンクロコードで電源部のシンクロソケットとカメラのシンクロターミナルを接続します。カメラのシャッターで発光テストを行ってください。

●本番撮影をされる前に実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等でカメラのシンクロ(同調)テストを行うことをお奨めします。

### 【ご注意】

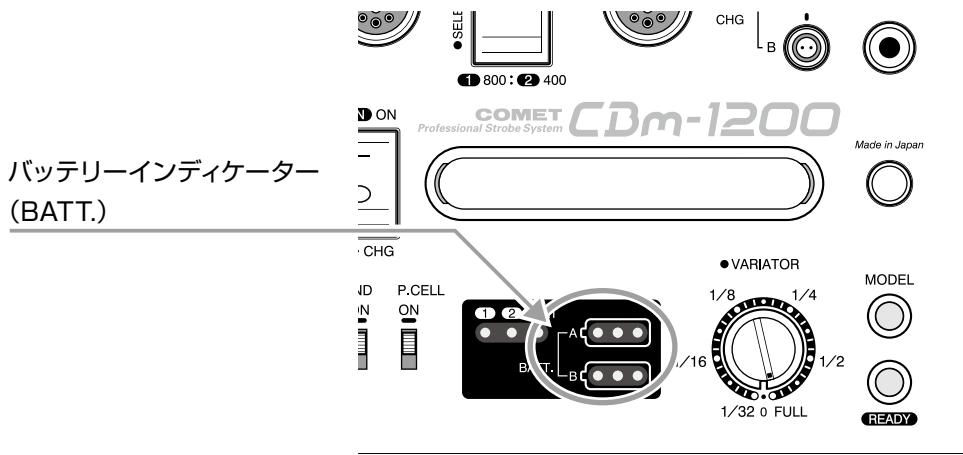
- カメラまたはレンズにM/X接点があるときは、X接点を使用してください。
- シャッター速度を1/60以下(遅い側)でご使用ください。



# 5 電池の残量表示

A/B 2 本の電池残量をそれぞれ、3 個のランプで表示します。

十分に活性化された電池を FULL 充電で使用したときは、2 本使用時約 150 発、  
1 本使用時約 60 発 (FULL 出力時) の発光ができます。



**残量表示と発光回数** 残表示ランプと発光回数の関係は目安として下記のようになります。

| NHB-2428 (ニッケル水素電池) | バッテリーインディケーター | 発光回数        |
|---------------------|---------------|-------------|
| A/B 2本使用            | 残量表示ランプ各3個点灯時 | 約150回       |
|                     | 残量表示ランプ各2個点灯時 | 約100回       |
|                     | 残量表示ランプ各1個点灯時 | 約50回        |
|                     | 全灯消灯          | 電池を充電してください |
| A/B どちらか1本使用        | 残量表示ランプ3個点灯時  | 約60回        |
|                     | 残量表示ランプ2個点灯時  | 約40回        |
|                     | 残量表示ランプ1個点灯時  | 約20回        |
|                     | 全灯消灯          | 電池を充電してください |

チャージ時間が 10 秒以上になったときは電池を充電してください。

上記の発光回数は電池が十分に活性化されているものを使用した場合です。  
ご購入時や、長期間 (1ヶ月以上) 使用されなかった場合は FULL 充電を行っても所定の発光回数が得られない場合があります。  
この場合は数回充放電を繰り返すことにより、リフレッシュします。  
一晩放置している間も、自然放電しているので、お気をつけください。

## ご注意

- 電源部が充電完了したあと、メインスイッチを一度「OFF」にして再び「ON」にすると、電池残量表示が「FULL」表示になりますが故障ではありません。  
この時は、一度発光させると正しい表示になります。

## 6 パワーセーブ機能

約 30 分間発光操作を行わないとパワーセーブ（省電力モード）となり、チャージ停止 / 完了ランプが消灯となります。これ以降発光操作を行うと、不発光警報が作動しパワーセーブ機能が解除となります。

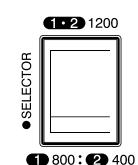
## 7 出力モードセレクター

### ■ ①・②1200Ws モード(パラレル出力)

①・②出力コネクターへ均等にストロボ出力が配分され、出力バリエーターで調光できます。

#### 【ヘッド 1 灯使用】

①・②出力コネクターどちらでも使用可能、FULL 出力 1200Ws を出力バリエーターで調光できます。

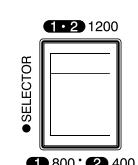


#### 【ヘッド 2 灯使用】

①・②出力コネクターへ均等に出力が配分され各灯 FULL600Ws を均等に出力バリエーターで調光できます。

### ■ ①800Ws ②400Ws モード(セパレート出力)

①出力コネクターより FULL800Ws、②出力コネクターより FULL400Ws の出力配分を、出力バリエーターで調光できます。



#### 【ヘッド 1 灯使用】

①出力コネクター 使用 の 時 FULL800Ws、②出力コネクター 使用 の 時 FULL400Ws を出力バリエーターで調光できます。

#### 【ヘッド 2 灯使用】

①出力コネクターより FULL800Ws、②出力コネクターより FULL400Ws を、出力バリエーターで調光できます。

## 8 出力バリエーター

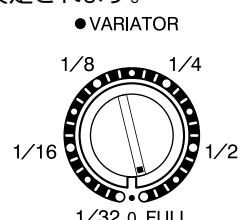
出力バリエーター (VARIATOR) は、出力モードセレクターで設定した出力を FULL から 1/32 までを 1/16EV ステップで調光します。

1. 本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーターを下げても内部のメインコンデンサーに溜められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定出力値まで下がりません。このときは一度発光させて下さい。チャージが完了すると新たな出力値に設定されます。

2. 出力バリエーター (VARIATOR) を上げたとき 設定された出力値まで

自動的にチャージが行われますので、発光操作は必要ありません。

このときはレディーランプ (READY) がいったん消灯し、チャージが完了すると再点灯します。

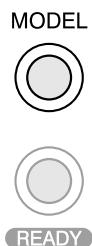


## 9 モデリングランプスイッチ

モデリングランプの「ON/OFF」を設定します。

電池の消耗を少なくするため、「ON」の時約8秒間点灯します。

モデリングランプ点灯中に、再度モデリングランプスイッチを押すことで「OFF」になります。(モデリングランプの「ON/OFF」は CBm-1200 のモデリングランプスイッチで必ず行ってください。)

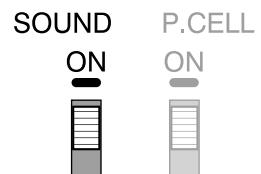


### ご注意

- モデリングランプ点灯時、ヘッドのモデリングランプスイッチでの「ON/OFF」のスイッチ操作は絶対におやめください。  
ヘッド側のモデリングランプスイッチを痛める恐れがあります。
- モデリングランプは1灯使用時250W、2灯使用時で合計で300Wを超えないランプをご使用ください。

## 10 サウンドスイッチ

チャージが完了した時、ブザー音がなります。  
必要な時「ON」にします。

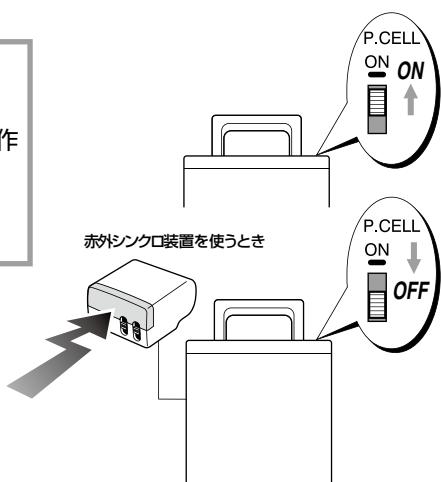


## 11 フォトセルスイッチ

他のストロボ光を受けて同調発光したい場合フォトセルスイッチ(P.CELL)を「ON」にします。

### ご注意

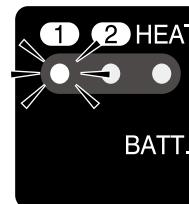
- 赤外シンクロ装置を使う時は必ず「OFF」にしてください。
- フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると動作しないことがあります。
- 同調発光させない時は「OFF」にしてください。



## 12 不発光警報

発光操作を行っても、発光しなかった時は該当するコネクター番号の不発光表示ランプが点滅し、ブザー音が鳴り、不発光をしらせます。

- チャージ完了前に発光操作を、行った時も同様に警報ができます。
- 警報はサウンドスイッチが「OFF」でも鳴ります。



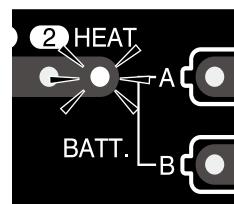
### ■警報の解除

チャージ完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すると解除されます。または、メインスイッチ（MAIN）をいったん「OFF」にすることでも解除されます。

## 13 過熱警報

連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になった時、過熱警報（HEAT）ランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。この時は、ただちに使用を中止してください。

- 警報はサウンドスイッチが「OFF」でも鳴ります。

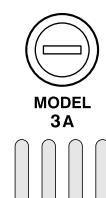


### ご注意

- 加熱警報作動時は、モデリングランプを点灯することは、できません。

## 14 ヒューズ交換

ヒューズホルダーの蓋をドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。

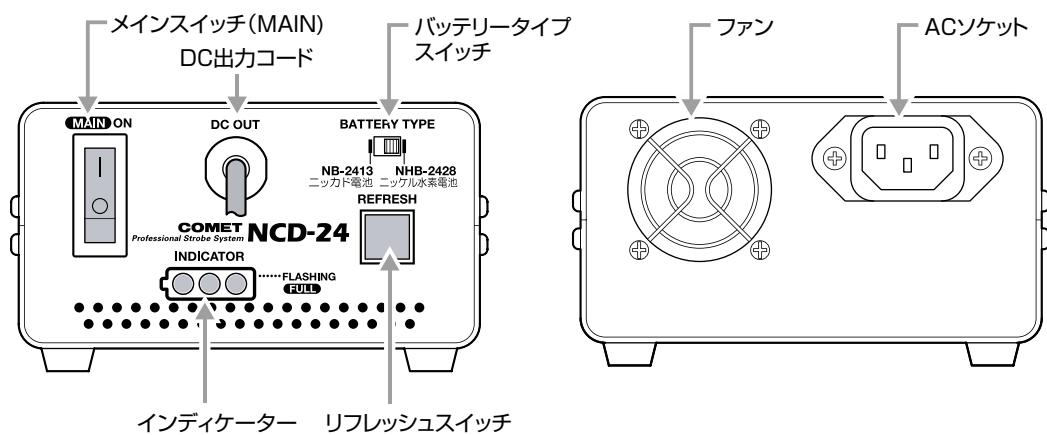
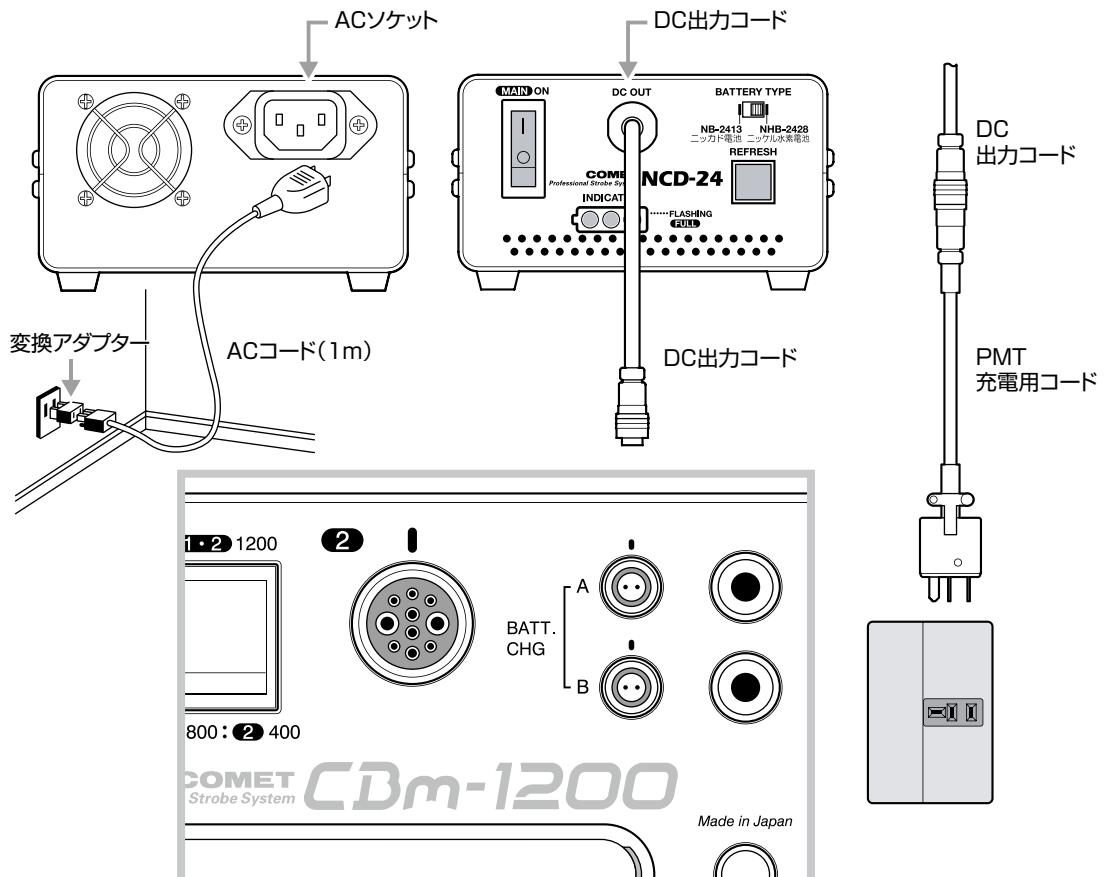


### ご注意

- ヒューズ交換は、メインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、必ず電池を抜いてから行ってください。

# 15 充放電器

## ■ 充放電器(NCD-24)の接続方法と各部の名称



## ■電池の充電方法

1. 充放電器のメインスイッチ (MAIN) と本機のメインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確認したうえで、DC 出力コードを接続します。
  2. 充放電器のバッテリータイプスイッチで NHB-2428 (ニッケル水素) を選択します。PMT 用電池 NB-2413 (ニッカド電池) の場合は、NB-2413 を選択してください。  
【ご注意】選択をまちがえると発熱し、故障の原因となります。
  3. 充放電器の AC ソケットに AC コードをしっかりと差し込みます。3P AC プラグに変換アダプターを取り付け、次に AC コンセントに接続します。
  4. 充放電器のメインスイッチ (MAIN) を「ON」にするとインディケーター 1 灯が点灯し、充電を開始します。
  5. 充放電器のインディケーターが 3 灯点滅すると充電完了です。  
充電は NB-2413 が約 1 時間、NHB-2428 は約 2 時間で完了します。
- 電池を本体から取り外して、「PMT 充電器用コード」に接続して充電することもできます。

## ■リフレッシュ機能

発光回数がメモリー効果等で所定の回数まで発光しなくなったときに使用します。  
リフレッシュ時間は、フル充電の状態で約 3 時間かかります。

### ＜操作方法＞

電池の充電方法と同じに一旦、充電を開始します。  
その状態でリフレッシュスイッチを押すと、リフレッシュ表示が点灯して、放電を開始します。

電池の電圧が所定の電圧まで下がると放電を停止して、通常の充電を開始します。

### ＜解除方法＞

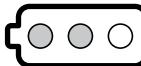
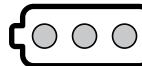
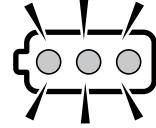
リフレッシュを途中で中止するときは、メインスイッチを「OFF」にしてください。  
メインスイッチを「ON」にすると、通常の充電が開始します。

### ご注意



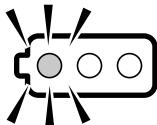
- 満充電の電池をリフレッシュすると数時間かかりますので、極力、電池が空の状態で使用してください。
- 電池を充電する場合、本機のメインスイッチを「OFF」にして行ってください。
- 充電しながら、ストロボの使用は避けてください。機器類の故障の原因になります。

## ■充電表示について

| 1 充電開始  | 2 充電中   | 3 充電中   | 4 充電完了  |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |
| 電池を接続してメインスイッチを「ON」にすると、インディケーターのランプが1灯点灯し、充電がはじまります。                             |   |   | 充電が完了すると、3灯のランプが点滅し、同時に約4秒間ブザーが断続して鳴ります。  |

### ご注意ください

充電表示ランプが1個点滅するときは、次のような場合です。



- ①電池を接続せずにAC電源が投入されている  
→直ちに電源を「OFF」にする
- ②電池を連続使用したあとで、内部温度が高い  
→温度が下がるのを待つ
- ③出力コード、または充電用コード等が不良  
→要修理

## ■海外で使用するとき

充放電器(NCD-24)は、AC100~120V/200~240Vの地域でご使用になります。

### ご注意



- 海外で使用する場合、使用先の電源コンセントに合った変換プラグをご使用ください。

## ■充放電器出力プラグの脱着

充放電器の出力プラグを本機から抜き取るときは、プラグのロッククリングを持って、抜いてください。ロックが解除され、プラグを抜き取ることができます。

## ■電池の過放電劣化について

電池を過放電（電源を使用状態で長時間放置する等）すると、電池の劣化により電池不良判定機能がはたらき充放電器での電池充電ができないことがあります。

## ■電池の取扱について

### 1. 使用温度について

- 使用温度は、0°C～45°Cの範囲内で使用してください。  
0°C以下や 45°C以上では電池容量が少なくなり所定の発光回数が得られなっかたり、性能劣化の原因となる場合がありますのでご注意ください。

### 2. 寒冷地での使用について

- 電池が 0°C前後まで冷えると、電池の充電状態に関係なく、ストロボの充電ができないことがあります。このような場合には電池を室温（20°C～25°C）になるように暖めてください。（カイロなど）
- 電池を暖めるときは、直火にあてたり温湯をかけたりしないでください。感電や故障の原因になります。

### 3. 充電について

- 充電時の周囲温度は 0°C～40°Cの範囲内で行ってください。特に効率がよいのは、10°C～30°Cです。
- 0°C以下、あるいは 40°C以上では充電効率が低下し、充分充電されないばかりでなく性能劣化や液漏れの原因になることがあります。

### 4. 保存について

- 保存温度は 0°C～30°Cの範囲で、乾燥した場所を選んでください。
- 長期にわたる保存は自己放電や電池内部の不活性化により、初回充電では充分に充電されないことがあります。その場合、充放電を繰り返すことにより特性が回復します。
- 保存期間が 1～3ヶ月以内の場合、電池は FULL または放電状態どちらでもかまいません。
- 保存期間が 3ヶ月を越える場合には、放電状態で保存することが理想です。
- 6ヶ月以上長期保存の場合は、自己放電による性能劣化や液漏れ防止のため、最低 3ヶ月に 1回は充放電を数回繰り返し行ってください。

### 5. 電池の発熱について

- 電池は連続発光などで所定の温度以上に発熱すると、電池内部の温度センサーが働いて、電池保護のため電池内部の回路が「OFF」になることがあります。
- 充放電器の充電表示ランプが点滅するときは、いったん充電を止めて、電池の温度が下がるのを待ってください。

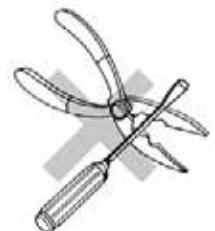
### 6. 長期間の放置について

- 充電した電池を長期間放置しておくと自然放電します。この場合、使用する直前に再度充電を行ってください。

## ご注意とお願い

### ●電池は絶対に分解しないでください

電解液が漏れると強アルカリ性ですので、皮膚や衣類をいためたりします。



### ●電池をショートさせないでください

電池をショートさせると大電流が流れ、電池を損傷させたり、電池の発熱でやけどの恐れがあり、大変危険です。



### ●電池を火中に投入しないでください

電池が破裂することがあります。



### ●専用充放電器以外は使えません

電池と充放電器は専用のものをお使い下さい。

- PMT $\alpha$ 用の電池 NHB-2428 (ニッケル水素電池) は PMT 用充電器 (NC-24/NC-24II) では充電できません。



### ●電池を他の用途に転用しないでください

仕様の違いにより電池を損傷させたり、機器が損傷することがあります。



### ●高温になる場所に長時間放置しないでください

夏期の閉めきった自動車内や直射日光の当たる所など、高温になる場所に長時間放置しないでください。電池や使用部品の寿命が短くなることがあります。



# 16 保証とアフターサービス

## ■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

## ■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

## ■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

## ■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のコード類をセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

## ■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付しております。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

## 17 仕様

### 〔電源部〕

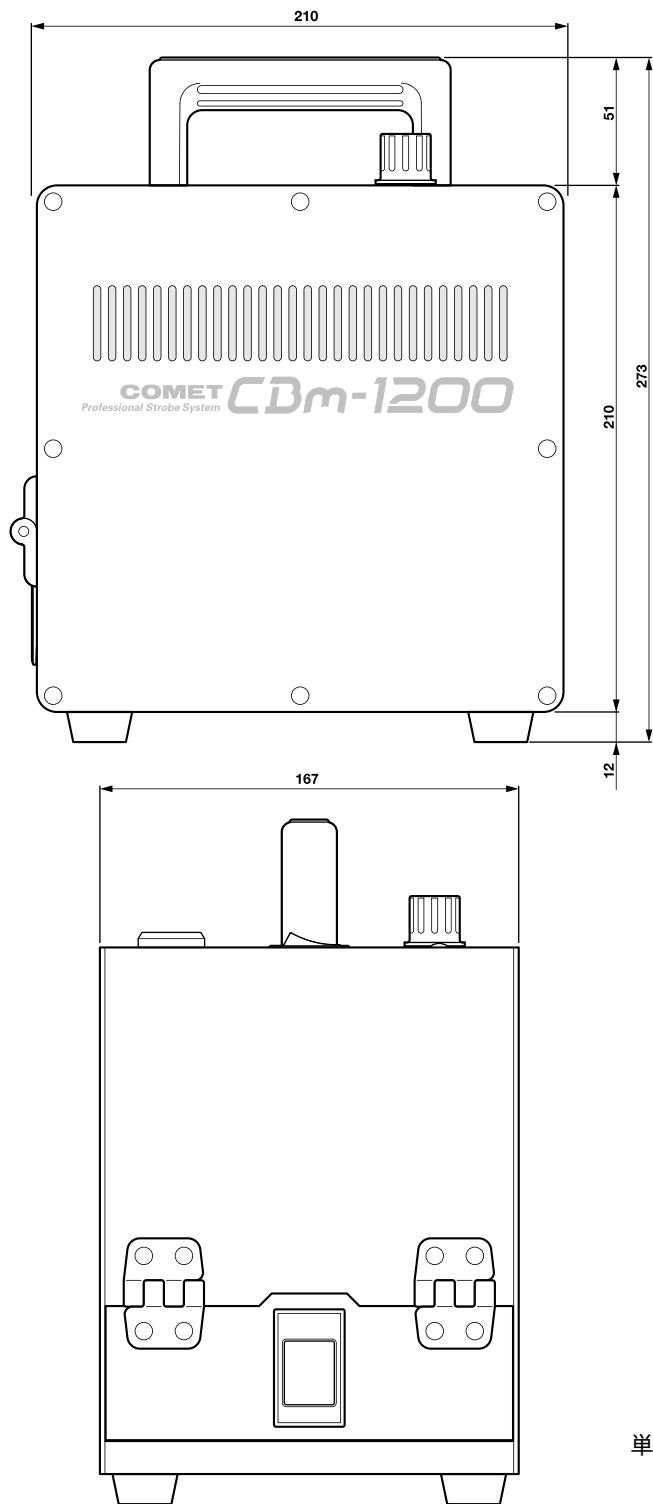
|                   |   |
|-------------------|---|
| 品名                | CBm-1200 電源部  |
| 型式                | CBm-1200  |
| 電池                | ニッケル水素電池 NHB-2428 (24V2800mAh) 最大 2 本内蔵               |
| ヒューズ定格            | ストロボ用：20A×2 (内蔵)<br>モデリングランプ用：3A                      |
| バッテリーインディケーター     | 電池 A/B それぞれ 3 灯の LED ランプで表示                           |
| 電池充電コネクター         | 2   |
| 最大出力              | 1200Ws  |
| 出力コネクター/数         | CX コネクター 2  |
| ストロボ調光方式          | 電圧調光  |
| ストロボ調光範囲          | 1 回路調光 FULL～1/32 まで 1/6EV クリック                        |
| 出力セレクター           | パラレル / セパレート切り替え<br>パラレル①②1200Ws / セパレート①800Ws ②400Ws |
| モデリングランプ          | 2 灯合計 300W モデリングスイッチ (ON/OFF) 付<br>ON 設定で約 8 秒で消灯     |
| チャージ時間 (FULL 充電時) | 電池 2 本使用 2.8 秒以下 / 1 本使用 5.0 秒以下                      |
| 発光回数 (最大光量時)      | 電池 2 本使用 150 回以上 / 1 本使用 60 回以上                       |
| サウンドモード           | チャージ完了音 /OFF  |
| 不発光警報             | 不発光表示ランプ点滅及び警報音                                       |
| 過熱警報              | 過熱警報ランプ点滅及び警報音  |
| シンクロソケット          | ホーンジャックタイプ 2  |
| シンクロ電圧            | 12V   |
| フォトセル             | ON/OFF スイッチ付  |
| テスト発光スイッチ         | レディランプ兼用  |
| 寸法 (mm)           | 210 (w) ×167 (d) ×222 (h) 把手含まず 273 (h) 把手含む          |
| 重量 (kg)           | 4.6Kg (電池含まず) ニッケル水素電池 1.3Kg×2                        |

①発光部のファンは、作動しません。

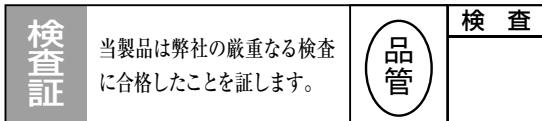
②スタジオ (S) タイプの発光部は、使用出来ません。

③モデリングランプ点灯時は、発光部のモデリングランプスイッチでの操作は絶対におやめください。

# 18 寸法図



●本仕様は改良のため予告なく変更することがあります、あらかじめご了承ください。  
なお、この仕様は2007年2月現在のものです。



## ●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ!

| 愛情点検 | こんな症状はありませんか  | このような症状のときは直ちに使用を中止し、当社営業所または販売店にご相談ください。 |
|------|---|---|
|      | <ul style="list-style-type: none"><li>●スイッチを入れても所定の時間で充電しない</li><li>●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する</li><li>●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる</li><li>●その他の異常や故障があるとき</li></ul> |   |

- ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用者への危険、または物的損害を与えることが予測されます。
- 取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。
- 上記のような症状がなくても1年に1~2回は点検を受けられるようおすすめします。

## アフターサービスについてのご相談は

# COMET®

コメット株式会社

|               |                               |                                     |
|---------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 本社            | 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6     | TEL.(03)3264-8621 FAX.(03)3264-6385 |
| 札幌営業所         | 〒064-0804 札幌市中央区南4条西12-1304-4 | TEL.(011)561-2488 FAX.(011)563-2620 |
| 仙台営業所         | 〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25     | TEL.(022)727-6521 FAX.(022)727-6523 |
| 東京営業所 営業課     | 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-11    | TEL.(03)5644-7911 FAX.(03)5644-7912 |
| 東京営業所 コマーシャル課 | 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6     | TEL.(03)3264-8625 FAX.(03)3264-8628 |
| 名古屋営業所        | 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-1-1      | TEL.(052)735-9077 FAX.(052)735-9088 |
| 大阪営業所 営業課     | 〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22      | TEL.(06)6536-0671 FAX.(06)6536-4020 |
| 大阪営業所 コマーシャル課 | 〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22      | TEL.(06)6536-1667 FAX.(06)6536-4020 |
| 広島営業所         | 〒730-0831 広島市中区江波西1-7-16      | TEL.(082)293-0075 FAX.(082)293-0076 |
| 福岡営業所         | 〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4        | TEL.(092)411-1202 FAX.(092)411-1209 |
| 福岡営業所 コマーシャル課 | 〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4        | TEL.(092)411-1254 FAX.(092)411-1209 |
| 一級建築士事務所      | 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6     | TEL.(03)3264-8623 FAX.(03)3264-9906 |
| 海外事業部         | 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6     | TEL.(03)3264-8622 FAX.(03)3264-6385 |
| ストロボクリニック部 本部 | 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-11    | TEL.(03)5644-7913 FAX.(03)5644-7914 |

URL <http://www.comet-net.co.jp>

E-mail [mail@comet-net.co.jp](mailto:mail@comet-net.co.jp)